

陽光まぶしい春が
待ち遠しいですね



入学、進学、就職：旅立ちのとき

長かった冬に別れを告げ、自然界も人の世も生命の息吹と躍動が感じられる季節です。

春には、入学・進学と卒業、就職と退職があり、また、転職や引越しを伴うかたもいらつしやると思います。それぞれが転機であり、新たな局面を迎えるということは何かしらの決断や判断が求められることでもあります。このような場に臨むと、私たちは「今のとき」に夢中になってしまいうまひ直面する現実に視界を遮られ、ややもすれば「次」のことを冷静、客観的に捉える感覚を失いがちになるように思います。

いのです。競技している最中であっても、次が見えている、自らを客観視できているのでしょうか。

もう一つは、昨年2月、天皇陛下の心臓手術の際に執刀医を務めた順天堂大学医学部心臓血管外科の天野篤教授。先生によると、手術は基本的に手仕事で、頭で考えてそれから手を動かすのではなく、ほとんど反射的に手を動かさないといけないそうです。手が考えているのですね。

ピアニストが今弾いているところの先の楽譜を見ているように、心臓外科医も今施しているその先を見ないといけないようです。見えるところまでの知識や経験、判断力が求められるということであり、並大抵の努力では成し得なかつたでしょう。

これら二つのことは、一見当たり前のようですが、実は市政の舵取りにも大いに示唆を与えてくれるように思います。

さて、弥生3月。東日本大震災から2回目の3月11日を迎えま



受験生のみなさんの幸運をお祈りします

す。復興に向けた足取りをもっともつと力強いものとしなければいけません。秋田市としてもさらに貢献できることはないか、今一度原点に立ち帰りたいと思います。

また、秋田公立美術大学が4月に開学します。大きな期待を胸に全国から多くの受験生たちがめざしてくれました。まぶしい春の光の中、第1期生の夢と秋田市の希望を乗せて、芸術・文化によるまちづくりは次なる旅立ちのときを迎えます。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。

「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>



除雪車展示コーナーは子どもに人気

ゆきみらい2013in秋田

秋田発~雪国から元気を

2月7日・8日、雪国の未来展望を発信するイベント「ゆきみらい2013in秋田」が行われました。同イベントは、北海道・北陸・東北でリレー開催され、今回で25回を数えました。

会場となった文化会館や児童会館などでは、道路の除排雪や冬期の防災、雪を活用した観光などをテーマに研究発表会やシンポジウム、見本市などが行われ、たくさんの方が訪れました。



見本市には、北海道や北信越の企業も参加



「おうまさん、ごころうさま」

なかいち童^{わかし}つこの雪まつり 復活した冬の風物詩に 子どもたちの歓声！

平成17年まで八橋運動公園で行われていた「童つこの雪まつり」が、2月9日から11日まで、エリアなかいちで復活しました。

会場ではポニーの馬そりや餅つき大会などが行われ、来場した「童つこ」も大興奮！冬の中心市街地が賑わった3日間でした。



子どもたちの手でミニかまくら量産中！



子ども会育成連絡協議会長、穂積市長と

秋田市優良子ども会等表彰式 市内に800団体ある 子ども会の模範です

2月6日、清掃やレクリエーションなど活発な活動をした、子ども会3団体と、会の育成に尽力している2人のかたを表彰しました。みなさんおめでとうございます。

奨励賞(子ども会)▶戸島下子ども会
優良賞(子ども会)▶金の町若葉子ども会・金の町むつみ子ども会(泉)
育成功労賞(個人)▶船木宏俊(保戸野)、佐々木幸子(広面)

*敬称略。受賞者名の()内は学区。



包括外部監査の結果報告 公有財産の効果的な活用を



2月12日、公認会計士の渡辺雅章さん(写真右)から、平成24年度包括外部監査の結果を報告していただきました。包括外部監査は、市の組織に属さない独立した立場の監査人が、市の事務をチェックするものです。市は報告された内容を十分検討し、適切に対処していきます。

総務課 ☎(866)2007

監査のテーマ 公有財産の取得・処分・管理等 及び有効利用について

監査結果(要点)

- ▼整備すれば公売地にできそうな土地や、市に利用予定はないが住宅地として需要がある土地など、売却に向けた検討が必要な土地がある
- ▼雄和体験学習館や追分駅東自転車等駐車場など、あまり使われていない施設の利用を促進する必要がある。秋田テルサのマイクロバスは稼働実績が少ないので、所管を替えて活用するか、取得から20年以上たつことから廃棄による管理コストの削減を検討すべきである
- ▼故障して使えない消火栓が19基あった。市は、周囲の消火栓や防火水槽などにより一定の消火能力があると判断しているが、早急に修理すべきである
- ▼新屋比内町市営住宅の建て替えを民間との協働で行った結果、市自ら実施した場合に比べて財政負担が29%削減されたとの報告がある。このような評価されるべき前例を次の市営住宅事業へつなげることが望まれる